

# 静岡県精神保健福祉士協会の 取り組み 2021年度

2022年2月27日

冬季研修会

# ここからの内容

- はじめに
- 受賞報告
- 事務局
- ワーキング
- 受託事業
- 研修
- 災害支援
- 次年度に向けて



# 厚生労働大臣表彰



令和3年度精神保健福祉事業功労者の厚生労働大臣表彰は、静岡県精神保健福祉士協会 会長、特定非営利活動法人こころ理事長である菅原 小夜子 氏が受賞されました。

菅原氏は、精神保健福祉士として永年にわたり精神保健福祉業務に従事し、精神障害者の相談支援、地域作り、ピア活動の発展、地域住民への普及活動に力を尽くすとともに、精神保健福祉の各種事業への協力、普及啓発活動及び専門職の育成、教育指導、人材育成等に多大なる貢献をした功績が認められました。おめでとうございます。

なお、今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、精神保健福祉全国大会での表彰が開催県の埼玉県内受賞者に限られたことから、表彰状は令和3年12月7日（火）「心の健康フェア2021 講演会」会場にて、静岡県精神保健福祉協会 石田 多嘉子 会長より伝達されました。

当日、会場には静岡県精神保健福祉士協会と特定非営利活動法人こころの関係者の方々も来場され、花束を贈って受賞をお祝いしました。



静岡県精神保健福祉協会 石田 多嘉子会長から  
「厚生労働大臣表彰状」を伝達される  
菅原 小夜子 氏





菅原会長、おめでとうございます！

# 協会体制図



事務局



# 事務局

## <所在地>

静岡市葵区駿府町1番70号  
静岡県総合社会福祉会館4階

## <稼働日>

月・水・金 9:00~13:00

## <事務局体制>

事務局員2名







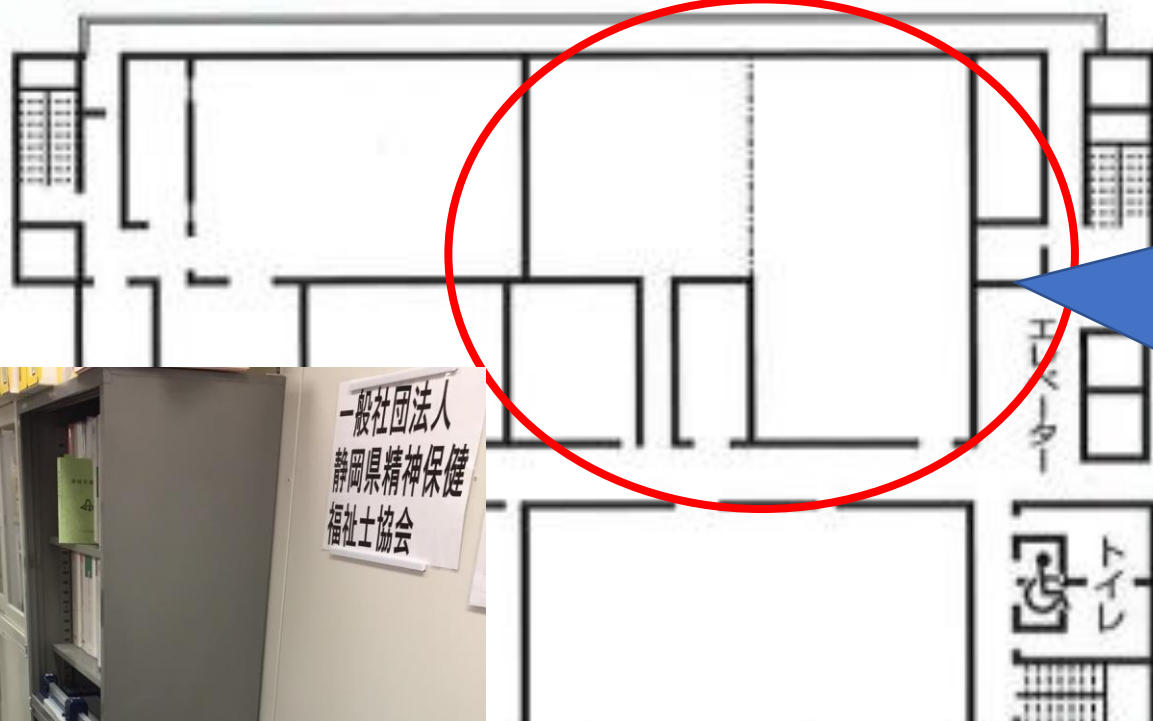
シズウエル パンフレットより

静岡県総合社会福祉会館

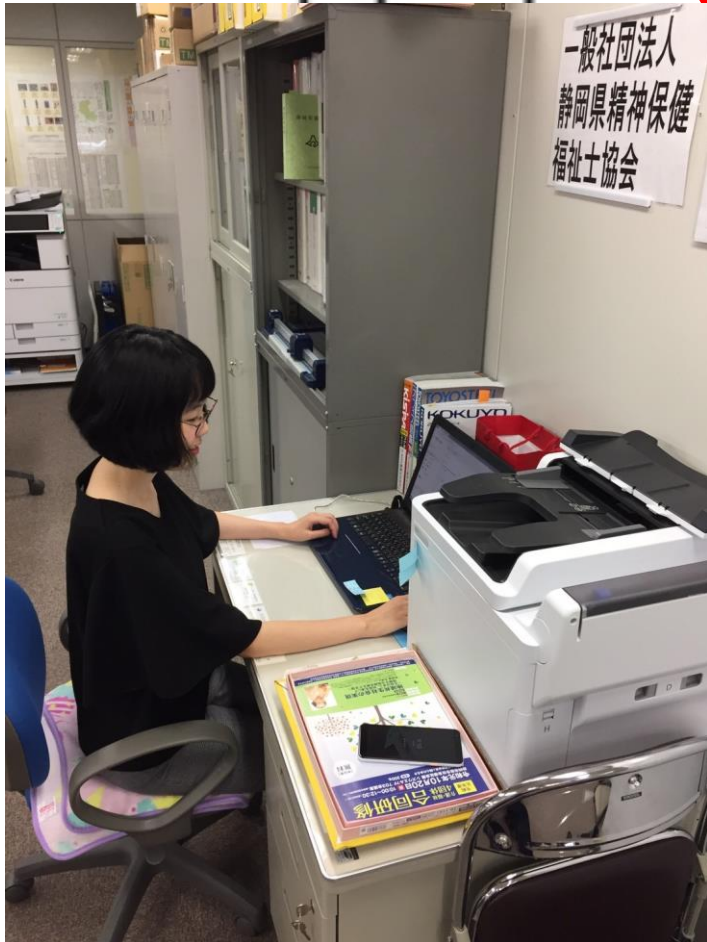
# シズウエル

設置者／静岡県  
指定管理者／社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会  
所在地／静岡市葵区駿府町1番70号  
TEL.054-254-5221 FAX.054-254-5210

4F



社会福祉士会事務局のスペースの一部を間借り。同じフロアに介護福祉士会、介護支援専門員協会、地域包括・在宅介護支援センター協議会事務局がある



## お問い合わせ

一般社団法人 静岡県精神保健福祉士協会 事務局

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70

静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)4F

TEL 054-293-7117 (対応可能時間：毎週月・水・金曜 9時～13時)

FAX 054-293-7118

MAIL [shizuokapsw.n@gmail.com](mailto:shizuokapsw.n@gmail.com)

ワーキング



# 相談WG

静岡県精神保健福祉士

## 相談支援専門員祭り

～ 相談支援にかかわる皆さん！集まって(\*^▽^\*)

### 【趣 旨】

精神保健福祉士が様々な現場で実践を積み重ねている昨今。今年度は、障害福祉サービス等報酬改定もあり、私たちが取一刻と変化しています。そこで、当協会の分野別 WG の一つで動き出します。

まずは、相談支援にかかわる協会員の皆さんと意見交換や現に向け夢を語る機会をつくりたい！と企画し、今回の『相談支となりました。是非とも、身近な人とお声掛けの上、ご参加く

### 【日 時】

2021年8月3日(火) 18時～19時30分

### 【方 法】

Zoomによる意見交換

### 【対 象】

現在、相談支援（委託相談、指定特定相談、指定一般相談支援センター）に従事している協会員

### 【申込み】

7月30日(金)までに送られてきたメールのURLから申込みください（GoogIForm）。

連絡先には当日、Zoomが繋がるアドレスの記載をお願いい



## 相談支援専門員祭り/秋

～ 晩秋の夜の退院支援 ～

### 【趣 旨】

夏の相談支援専門員祭りから、早数ヶ月。夏の祭りでは、

ている地域の実情を共有できました。過日、コロナの実態把握をいたしました。退院支援は、晩秋の夜にコロナ禍であるからこそその退院支援について、

### 【日 時】

2021年11月30日(火) 18時～19時

### 【方 法】

Zoomによる意見交換

### 【対 象】

現在、相談支援（委託相談、指定特定相談、指定一般支援センター）に従事している協会員

### 【申込み】

11月29日(月)までに送られてきたメールのURLから申込みください（GoogIForm）。



### 【申込みフォーム】

<https://forms.gle/adfyxE5vQMq5dQoM6>

（添付のチラシにあるQRコードからも申し込みが可能です）

# 相談支援 専門員

# 3

# 祭り 2022・冬

## 「ちょっと聞きたい退院支援の始め方

～ツボ・コツ・仕組みを知る～

# 3・17(木)

## 13:15～14:15

令和3年度最後の祭りです。退院支援について情報交換・意見交換の機会として開催します。日中開催・事前申し込みなしですので、気軽にご参加ください。

対象者：静岡県精神保健福祉士協会員

参加費：無料

研修方法：ZOOM ミーティングID:825 1799 1755

パスコード：715369

※ZOOMの使用方法については関連サイト等で事前にご確認・準備ください

※当日は開催15分前より入室できます

問い合わせ先：080-1563-5032（川嶋）

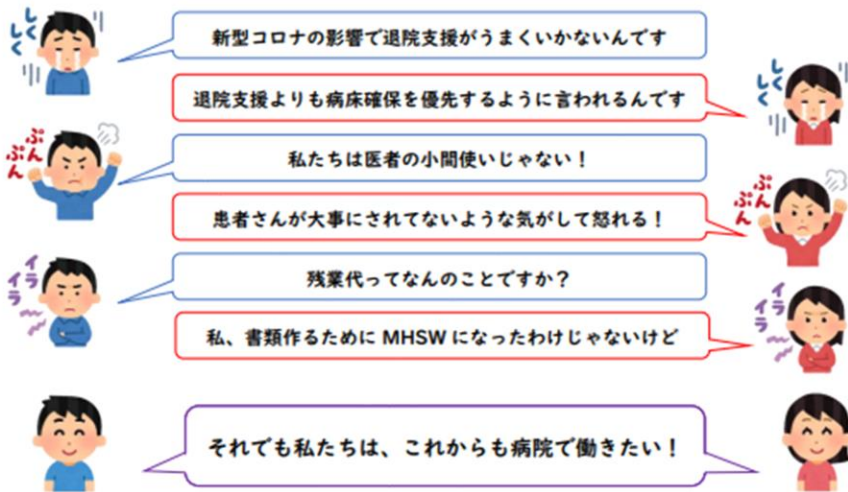
主催：静岡県精神保健福祉士協会 相談ワーキング



# 医療WG

## 精神科医療機関で働く方大募集！！

### あなたの声、聴かせてくれませんか？



精神科医療機関で、日々奮闘している皆さんの声を今後の協会運営に活かしていきたいと考えています。

是非とも、多くの方の御参加をお待ちしております！！

日時:令和3年11月26日(金)19時～  
対象:精神科に勤務する精神保健福祉士で  
経験年数4～15年程度の方  
方法:Zoomによるオンラインミーティング  
申込方法:①メールに記載されているURLから  
②下記QRコードから

※連絡先には、当日Zoomが繋がるアドレスの記載をお願いいたします。



2021年度 静岡県精神保健福祉士協会 第2回 医療ワーキング

## ひな祭りの後夜祭



(諸事情によりこのチラシはお手元限りで・・・)

日時:令和4年3月4日(金)19時～

方法:Zoomにて

申込方法:Googleフォームから申し込み

アクセス① URLから

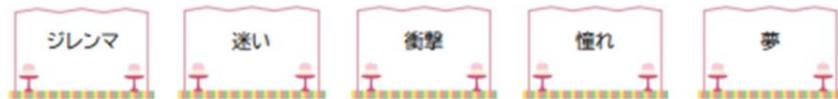
<https://forms.gle/HxKEGVmb3vLnLKck7>

アクセス② QRコードから



～実際お酒は飲みませんが、

医療機関に所属する者同士で交流を深めます～



などを肴に..13

# 第1回 医療WG (Zoom開催)



# 成年後見WG（権利擁護部）

- 会議等への参画
  - 静岡市成年後見制度利用促進協議会
  - 静岡市成年後見制度利用検討会
  - 富士宮市権利擁護ネットワーク会議
  - 藤枝市権利擁護検討会議 など
- 研修講師
  - 成年後見制度理解促進出前講座
  - 静岡市市民後見人フォローアップ研修
- 新生存権裁判傍聴参加
- 冬季研修企画

# 受託事業

精神障害者雇用推進アドバイザー事業

職業能力校への相談派遣事業（あしたか職業訓練校、静岡県立工科短期大学校）

静岡県精神障害者支援の障害特性と支援技法を学ぶ研修



# 精神障害者雇用推進アドバイザー事業

## 実施実績

ブロック	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
西部（中東 遠）	1.5	1.5	1	1	0	1.25	0.75				7
西部（浜松）	1	1	1	1	1	1	1				7
西部（浜松）	2	2	2.5	2	2.5	2	2				15
西部（浜松・ 湖西）	1	1	1	1	1	1	1				7
中部	0.5	1	1	1	1	1	1				6.5
西部		1	0	0	2	3	2				8
中部	1	1	0	0	1	1	0				4
中部	1	1	1	0.5	1	1	2				7.5
中部		1	1	1	1	1	2				7
中部			0	0	1	0.5	1.5				3
東部	1	1	0	0	1	1	1				5
東部		0.5	0	0	0.5	0.5	1				2.5
東部		2	1	0	1	1	1.5				6.5
東部（富士・ 富士宮）	1	1	1	1	1	1	1				7
東部（富士・ 富士宮）	1	1	1	1	1	0	0				5
東部（富士・ 富士宮）			0	0	1	1	1				3
	11	16	11.5	9.5	17	17.25	18.75	0	0	0	101

# 配信研修

(第10回静岡県ソーシャルワーク実践研究学会 2022年2月5日発表資料)

# コロナ禍における職能団体の 人材育成の取り組み

～ 配信研修の実施から研修のあり方を再考する ～

(一社) 静岡県精神保健福祉士協会

望月 信吾

(医療法人社団リラ 溝口病院)

# 発表趣旨

## 静岡県精神保健福祉士協会

- 2019年 新型コロナウイルス感染症が拡大
  - ⇒ 参集での研修を中止
  - ⇒ 新たな研修方法を模索
- 2020年度～ 配信型の研修を実施

配信型の研修の実施による効果、実施を通して職能団体が実施する今後の研修のあり方についての気づきを報告する。



# 職能団体の中心的な目的は “人材育成”

## 精神保健福祉士の倫理綱領

### 2. 専門職としての責務

#### (1) 専門性の向上

- a 精神保健福祉士は専門職としての価値・理論に基づく実践の向上に努め、継続的に研修や教育に参加しなければならない。

したがって…

職能団体は、

「専門性の向上」のための、“機会”を提供すること

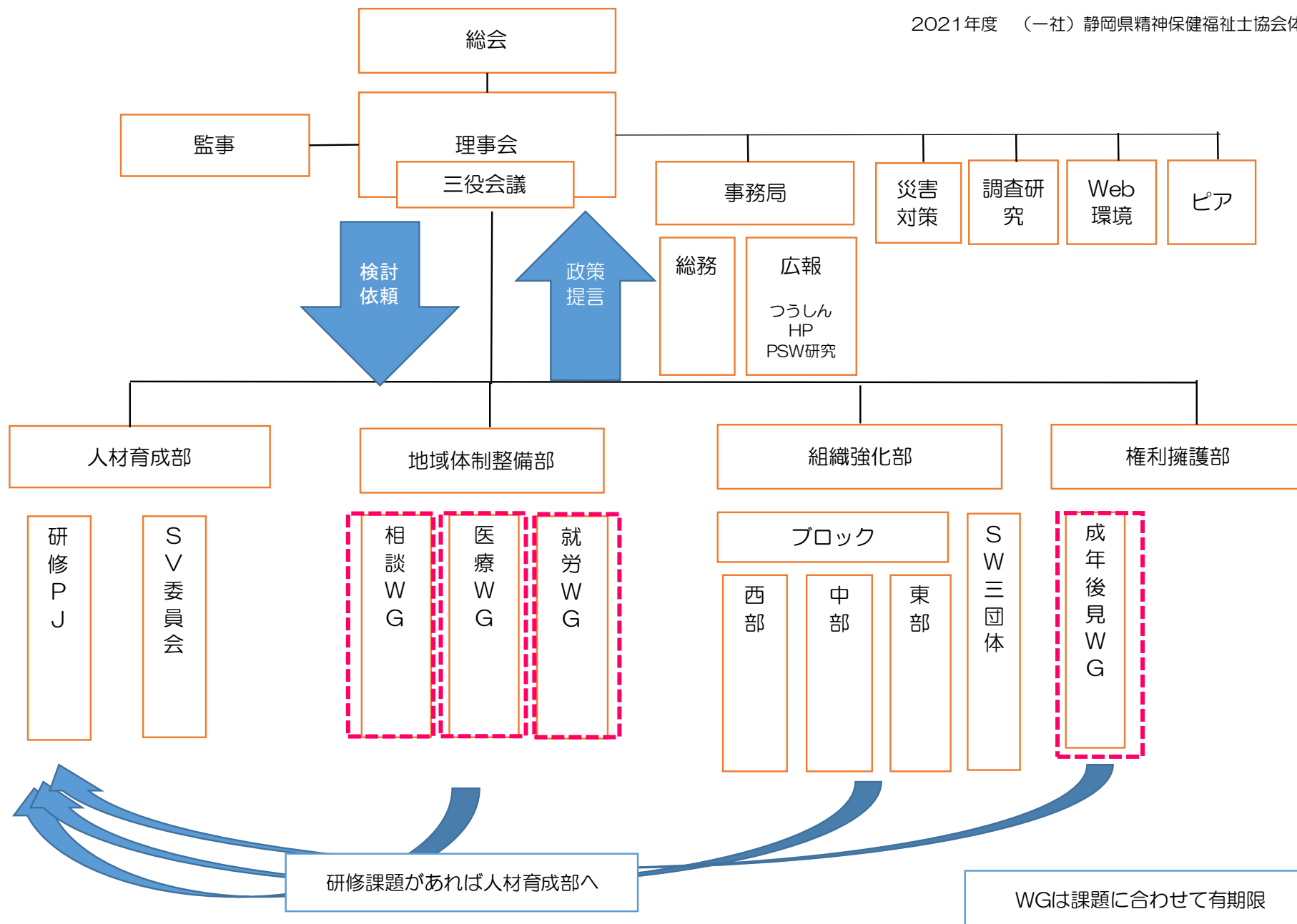
が求められる。

# 静岡県精神保健福祉士協会の研修会の変遷

	体制	できごと
1974年 (昭和49年)	県協会設立	少人数での研修 顔の見える関係づくり 情報交換
1992年 (平成4年)	年間計画で研修を体系化	総会時研修(講義)、 初任者研修会(宿泊、経験3年未満) 秋季研修会(宿泊)、冬季研修会(宿泊)
2003年 (平成15年)	静岡県を東部、中部、西部の3ブロックに分ける	各ブロックでの研修体制を整え始める
2008年 (平成20年)	「研修委員会」を組織 研修の企画運営 理事会⇒委員会	課題別研修 徐々に会員数増加のため宿泊研修が難しくなる。合宿形式⇒2日間研修へ
2018年 (平成30年)	研修プロジェクト発足(理事+委員)	研修体系・体制の見直し
2019年 (平成31年) (令和元年)	一般社団法人化 研修体系・体制の見直しをしていた矢先に コロナ禍に…(2020.2月 冬季研修中止)	2020年度上半期 新たな研修の模索期間に…

# 2021年度 (一社)静岡県精神保健福祉士協会体制図

2021年度 (一社) 静岡県精神保健福祉士協会体制図



# 2020年度 配信動画 (11本)

■ 「地域移行導入版 ～精神保健福祉士のやりがい～」



■ 「番外編 メイキング映像」



■ 「権利擁護① 県協会の取り組み ～成年後見ワーキング活動報告～」

権利擁護部活動から（私見です）

- ・静岡地方裁判所での裁判を傍聴、傍聴後のミーティングにもたな「出会い」と「つながり」、そこからの学びと気づき
- ・「傍聴をいっばいにするこゝろで裁判官に訴えかけていこう」「生きる権利をどう護るか？」という報告団の弁護士や大学教授の言葉
- ⇒「傍聴する」ことにも意味がある、ひとつのソーシャルアクション
- ⇒ソーシャルワーカーとして「生きる権利」についてもっと考えていかなければいけないのでは？
- ⇒「社会の不条理」を目の前にして、私たちソーシャルワーカーは何をすべきなのか？何ができるのか？
- ⇒私たちソーシャルワーカーが対象とするのは「（サービス等の）利用者」ではなく「クライアント（支援を必要としている多様な人）」

※個人の感想です。他の方には異なる場合があります。

🕒20分

■ 「Vol.1 ～相談支援の理解～」



■ 「Vol.3 地域移行支援導入後～それぞれの役割、重層的な展開～」

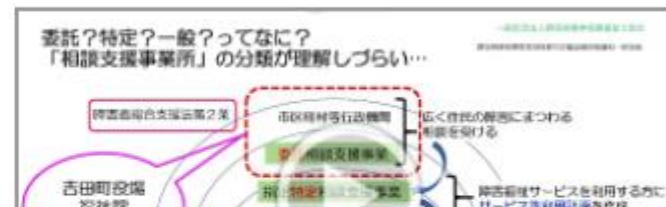


■ 「権利擁護② 成年後見制度とは ～精神保健福祉士の視点から～」



🕒46分

■ 「Vol.2 地域移行支援導入まで～精神保健福祉士の戦略～」



■ 「地域移行Vol.4 チーム支援 ～新しい仲間、ピアサポーターと一緒に～」



■ 「精神障害のある方の就労について」

医療法人社団 至空会  
多機能型事業所だんだん

金田 祥史

🕒35分

# 2021年度 配信動画 (1月末現在 5本)

## 会長挨拶



### 『精神科病院における精神保健福祉士の役割』

①17分

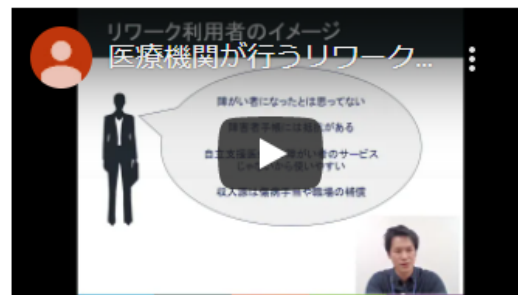
[「精神科病院における精神保健福祉士の役割」受講者アンケート](#)



### 『行政機関における精神保健福祉士の役割』

①33分

[「行政機関における精神保健福祉士の役割」受講者アンケート](#)



### 『医療機関が行うリワーク支援』

①38分

[「医療機関が行うリワーク支援」受講者アンケート](#)



### 『学んでみよう！相談支援専門員とサービス管理責任者って、何する人？』

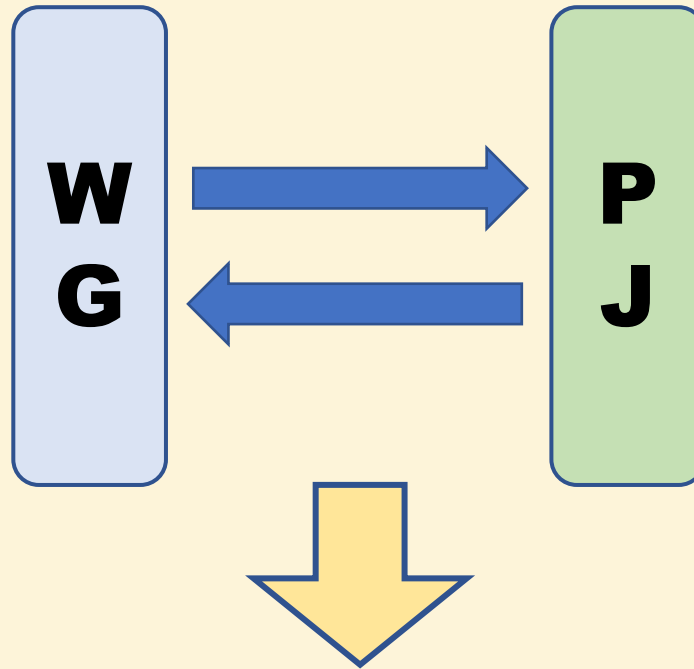
①26分



# 動画作成から見えてきたこと

## スーパービジョンの要素

- ①WG内で研修課題の検討
- ②研修内容を検討
- ③パワーポイントに説明文をつけてPJと共有



- ④PJは、職能団体として押さえたいことを確認し、意見や感想をフィードバック

人材育成

⑤研修動画の完成

協会活動への参画者の裾野が広がる

# 配信研修の効果

## メリット

- ✓どこでも(場所)、自分のペース(時間)で、受講できる。
- ✓普段家庭の事情等で参加できない会員が参加していた。

## デメリット

- ✓自分のモチベーションに左右される。
- ✓仲間に直接出会えない。
- ✓「研修時間」以外のフリーな時間がない。  
(雑談ができない)

昨年度から・・・ 入会者数↓ ・ 退会者↑

**「研修」というツール**が、ネットワークを作っていく大きな効果をもたらせている。

# まとめ

## 職能団体が行う研修の役割

- 知識、技術の獲得
- ネットワークづくりの場
- コミュニケーションの場(価値の再確認)

日頃の実践を分かち合い、振り返り、勇気づけられ・・・

それが「**明日への力**」になっていく場

改めて気づかされる・・・

# ご清聴ありがとうございました。

## 配信研修

[> 2020年度配信研修はこちら](#)



■ [『精神科病院における精神保健福祉士の役割』](#)

◎17分

[「精神科病院における精神保健福祉士の役割」受講者アンケート](#)



■ [『行政機関における精神保健福祉士の役割』](#)

◎33分

[「行政機関における精神保健福祉士の役割」受講者アンケート](#)



■ [『医療機関が行うリワーク支援』](#)

◎38分

[「医療機関が行うリワーク支援」受講者アンケート](#)



# 災害支援

(第10回静岡県ソーシャルワーク実践研究学会 2022年2月5日発表資料)

2022.2.5

2021年度（第10回）静岡県ソーシャルワーク実践研究学会

# 熱海市土石流災害に係る 静岡県精神保健福祉士協会の取り組み

一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会 災害対策委員会  
中村倫也（静岡県立こころの医療センター）

# **(一社) 静岡県精神保健福祉士協会 災害対策委員会について**

- **災害対策委員の配置**

東部・中部・西部ブロックに各1名ずつ  
ブロック会員、協力員との連携（安否確認等）

- **災害対策計画の策定・改訂**

計画に則った災害対策のために（平常時・発災時）  
情報管理、災害対策本部の設置、応援・受援体制について

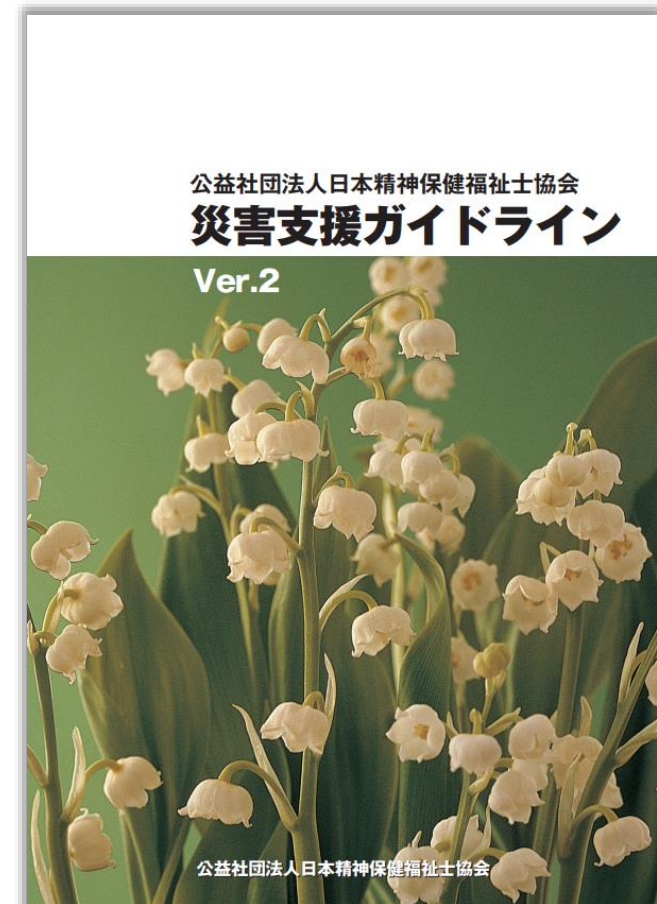
- **(公社) 日本精神保健福祉士協会との連携**

同会災害対策委員と兼務  
災害支援体制整備委員会との連携（災害対策連絡会・メーリングリスト）  
災害支援ガイドラインの共有  
応援・受援に関すること

# 災害支援ガイドラインについて

## 公益社団法人日本精神保健福祉士協会 災害支援ガイドラインVer. 2

- **平常時・発災時における協会の役割**  
情報管理、関係機関との関係づくり、災害の備え  
災害対策本部、義援金、応援・受援調整等
- **災害支援活動のあり方【活動例】**  
具体例を交えた実践例、支援者支援、セルフケア等
- **所属・職域別の支援活動例**  
市町村・保健所、医療機関、日中活動系事業所等





# 静岡県熱海市伊豆山で発生した土石流災害

あいぞめがわ

- 梅雨前線による大雨に伴い、令和3年7月3日10時30分頃に静岡県熱海市伊豆山の逢初川で土石流が発生。
- 逢初川の上流部 標高約390m地点で発生した崩壊が土石流化し、下流で甚大な被害が発生。
- 熱海雨量観測所における降り始めからの総雨量は400mm以上。7月2日12:30に土砂災害警戒情報発表。

## 【位置図】



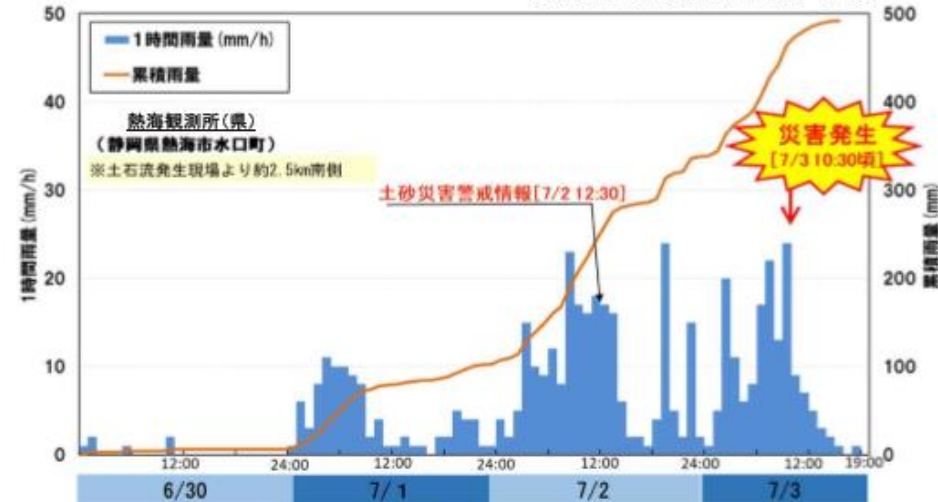
## 【土石流による被害状況等】



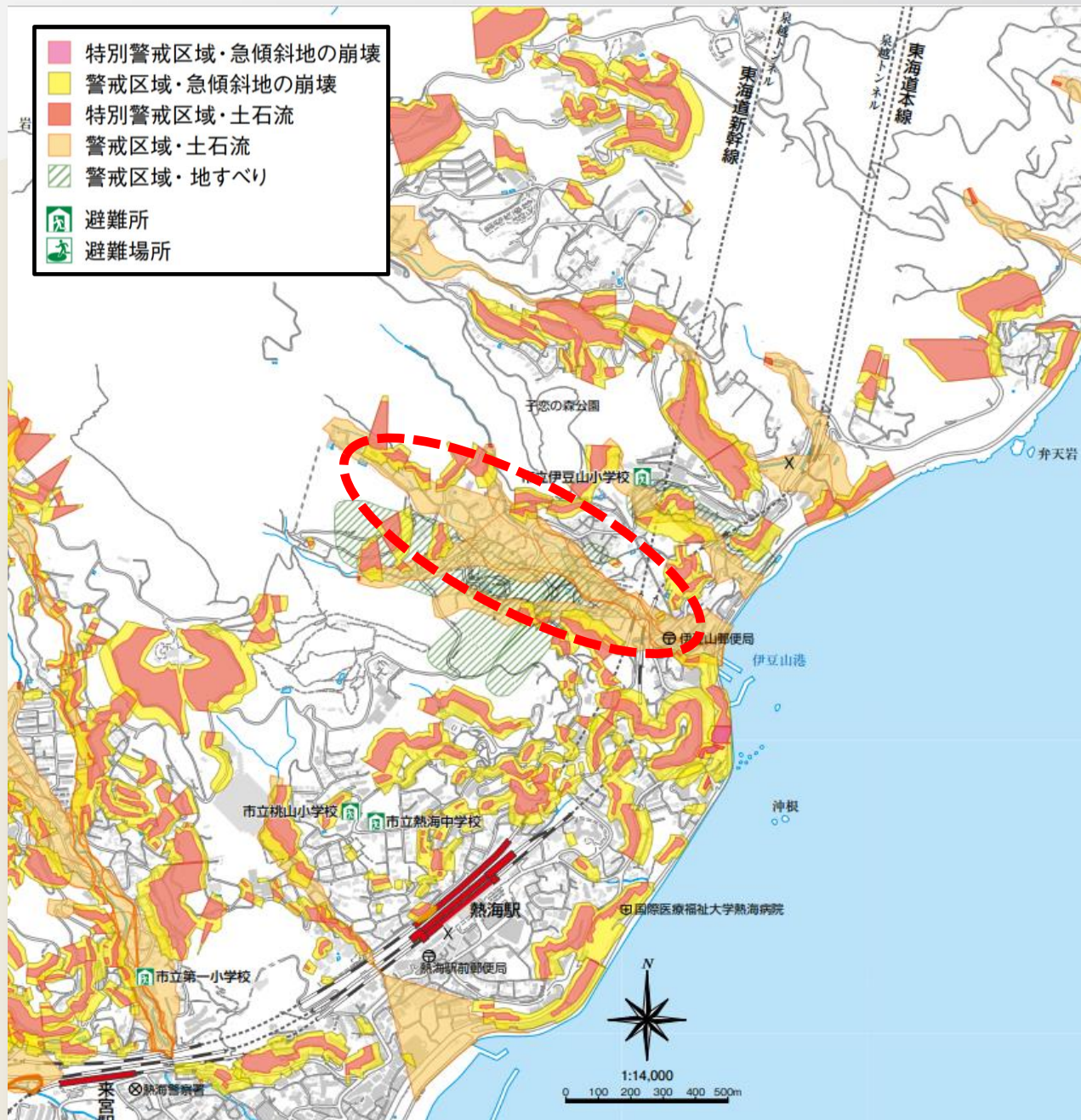
被害状況(7/5撮影)  
(写真は国土地理院)

## 【土石流発生前後の降雨量】

※発災時刻は報道情報による







## 被害の状況

人的被害	
死者	26名
行方不明	1名
負傷者 重傷	1名
軽傷	2名
計	30名

住宅被害	
全壊	53棟
半壊	11棟
一部破損	34棟
計	98棟

※消防庁報告2021.11.1現在

※熱海市土砂災害ハザードマップより

# 1. 発災～災害対策本部の設置

**2021年7月3日（土）10：30 土石流発生**

同日昼頃、当協会内のメーリングリストを中心とした  
情報収集を開始

（理事会・各種委員会・ブロック協力員・その他）

（同月4日（日）～ 静岡DPAT活動開始）

**同月5日（月）行政機関を含む情報を整理**

会員の安否、福祉・医療機関の無事、局所的災害  
ホームページでの発信

SW3団体での協力体制を確認  
静岡県精神保健福祉室とのやりとり

# 1. 発災～災害対策本部の設置

## 同月6日 臨時三役会議（リモート）

- 災害対策本部の設置は見送りへ  
日本精神保健福祉士協会への状況報告

## 同月7日 静岡県障害福祉課精神保健福祉室よりDPAT 終了後の活動継続について事前確認あり

## 同月17日 県同課より支援活動への協力打診

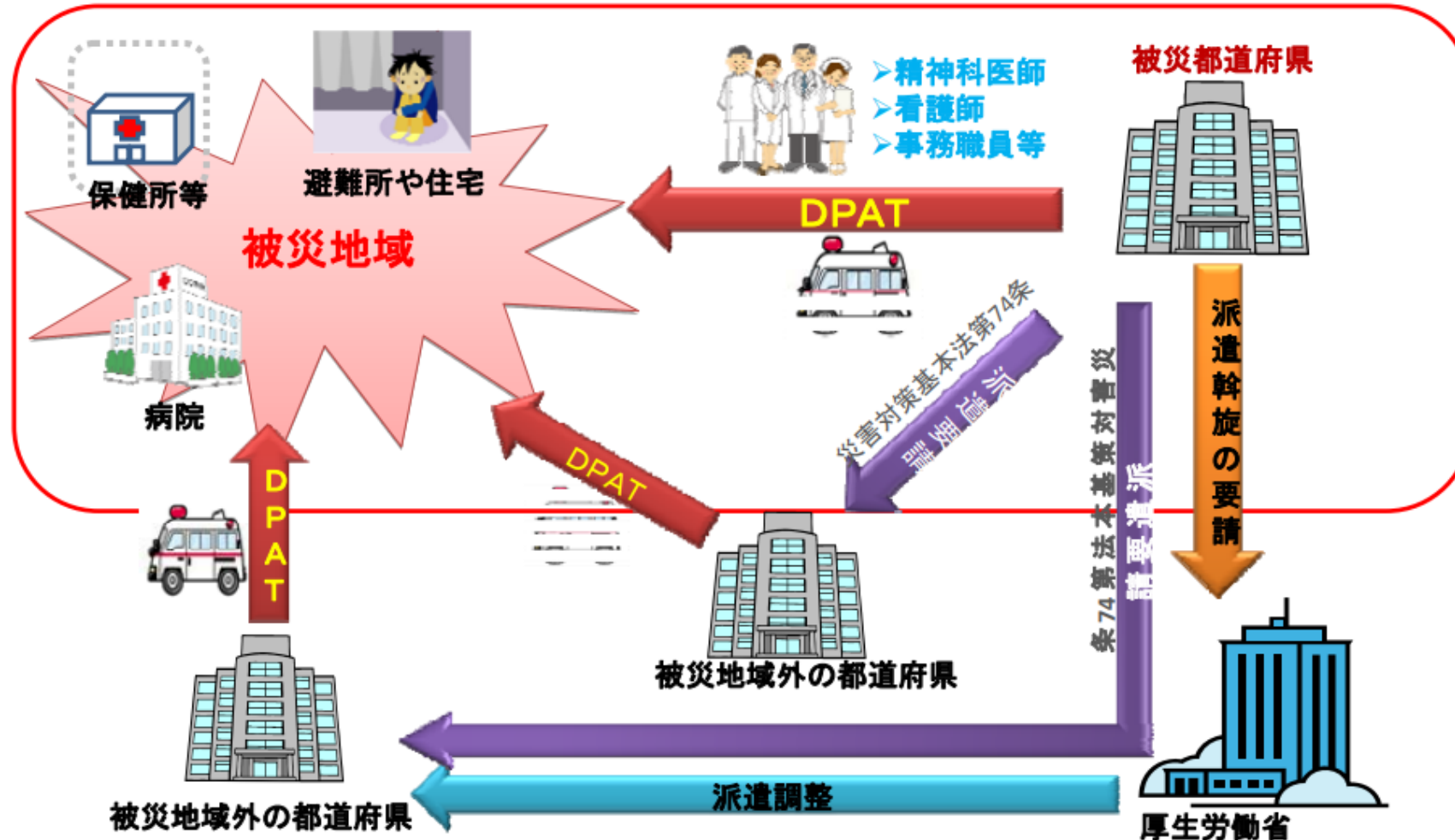
## 同月20日 臨時理事会（リモート）

- 災害対策本部の設置へ
  - ・ 情報集約
  - ・ 要請に応じた支援活動に関する調整
  - ・ 構成員の派遣等に関する調整
  - ・ 各方面への報告 等



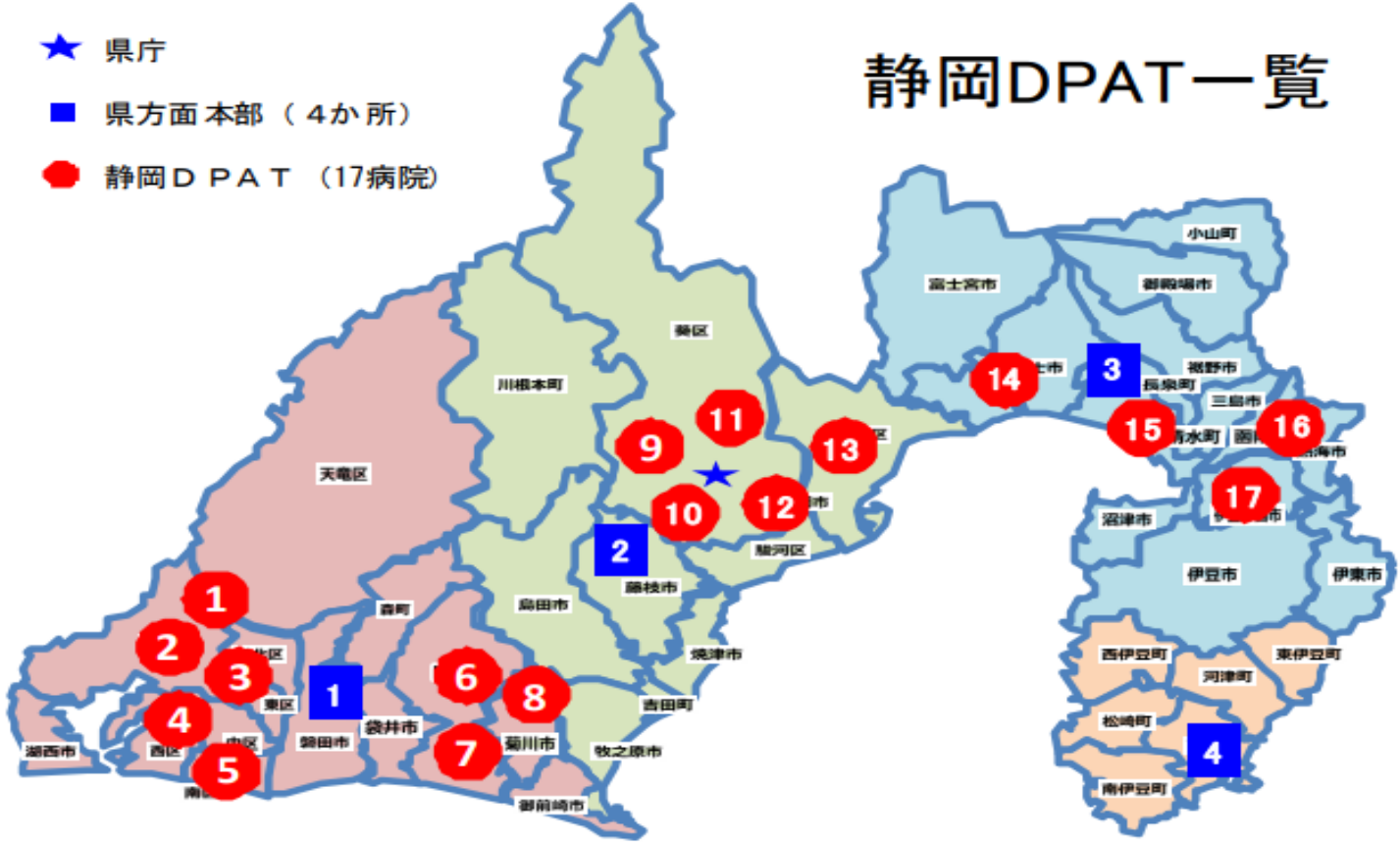
# 災害派遣精神医療チーム:DPAT (Disaster Psychiatric Assistance Team)

自然災害や航空機・列車事故、犯罪事件などの大規模災害等の後、被災地域に入り、精神科医療及び精神保健活動の支援を行う専門的なチーム。



※静岡県災害派遣精神医療チーム(DPAT)活動マニュアルより抜粋

# 静岡DPAT一覧



静岡DPAT指定機関病院		
① 聖隷三方原病院	⑦ 小笠病院	⑬ 清水駿府病院
② 朝山病院	⑧ 菊川市立総合病院	⑭ 鷹岡病院
③ 浜松医科大学医学部附属病院	⑨ 県立こころの医療センター	⑮ 沼津中央病院
④ 神経科浜松病院	⑩ 静岡赤十字病院	⑯ NTT東伊豆病院
⑤ 三方原病院	⑪ 県立こども病院	⑰ 順天堂大学医学部附属静岡病院
⑥ 川口会病院	⑫ 溝口病院	

※静岡県災害派遣精神医療チーム(DPAT)活動マニュアルより抜粋

## 2. 静岡県によるメンタルヘルスケア活動

日程	地域活動隊	活動概要	備考
7/3 (土)			土石流発生 静岡 DPAT 調整本部立上げ
7/4 (日) ～ 7/6 (火)	①静岡 DPAT	・保健師等からの支援ニーズを受け、避難者への精神科医療の提供、メンタルヘルスケア	7/4 (日) 静岡 DPAT 活動開始
7/7 (水) ～ 7/19 (月)	①静岡 DPAT ②日赤こころのケア班	・現場消防隊や熱海市消防からの依頼を受け、消防隊員へのメンタルケア	7/7 (水) 日赤こころのケア班 活動開始
7/20 (火)	①静岡 DPAT ②日赤こころのケア班 ③静岡県公認心理師協会	・熱海市からの依頼を受け、遺体洗浄にあたる市職員へのメンタルヘルスケア	・静岡県公認心理師協会 活動開始 ・静岡 DPAT 活動終了 ・静岡 DPAT 調整本部 活動終了
7/21 (水) ～ 7/31 (土)	①日赤こころのケア班 ②静岡県公認心理師協会	保健師のラウンドに同行し、要フォロー者へのメンタルヘルスケア	7/31 (土) 日赤こころのケア班 活動終了
8/1 (日) ～ 8/31 (火)	①静岡県公認心理師協会 ②静岡県精神保健福祉士協会	・要フォロー者への継続訪問 ・相談会形式で来所相談及び電話相談を実施	静岡県精神保健福祉士協会 活動開始 ※8月以降は火曜日、金曜日に活動

※静岡県障害福祉課報告資料より抜粋

# 活動内容

## 静岡DPATからの活動を引き継ぐ…

「保健師等からの支援ニーズを受け、避難者への精神科医療の提供、メンタルヘルスケアの実施ならびに支援者支援」

→日赤こころのケアチーム→公認心理師協会→精神保健福祉士協会

### ① 継続的に支援が必要な支援者に対する訪問支援

・公認心理師会と精神保健福祉士協会が2名ペアで訪問 ・活動日は火曜と金曜

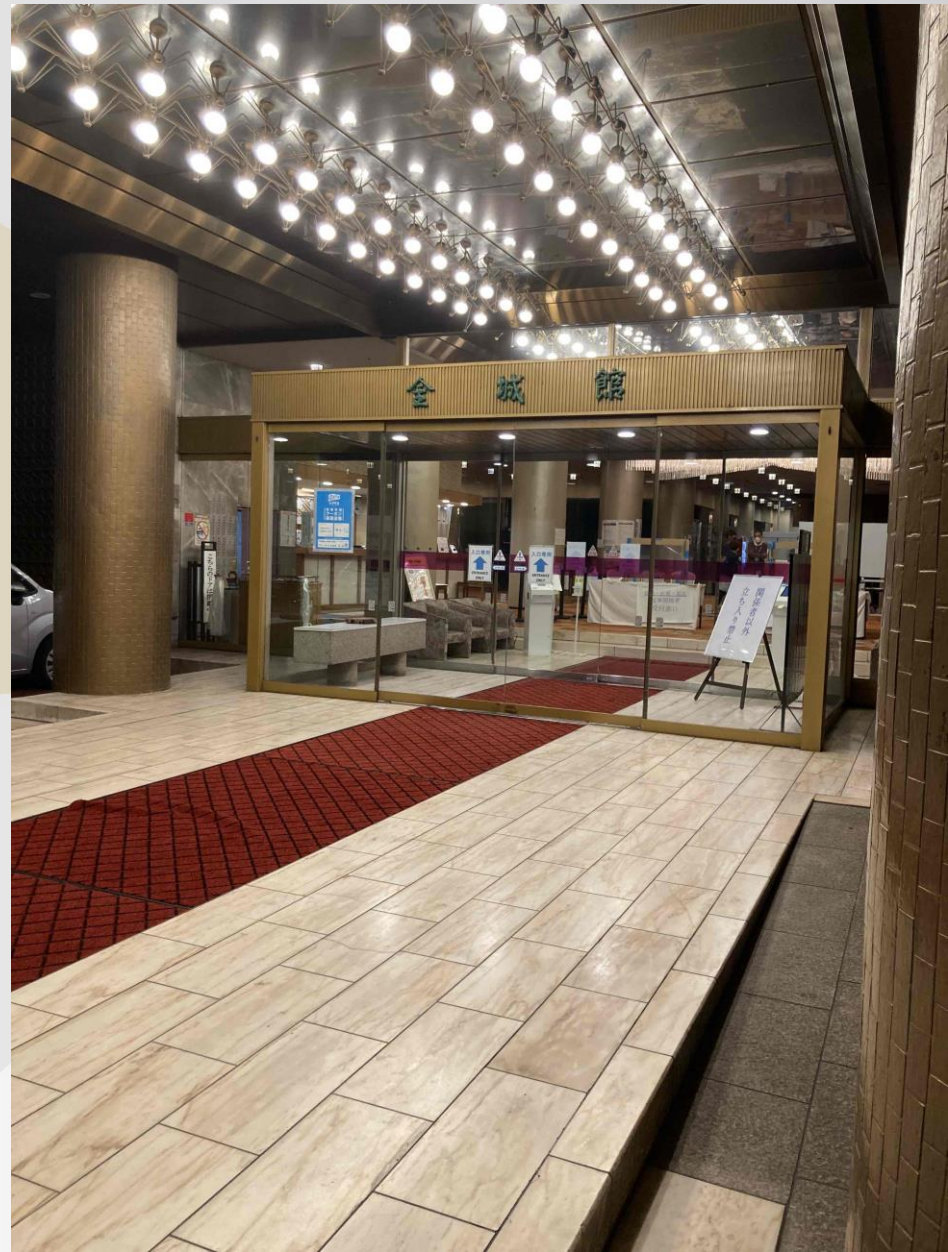
**「様子を見守っていく」「声掛けを続けていく」**

**「全体で状況を把握していく」**

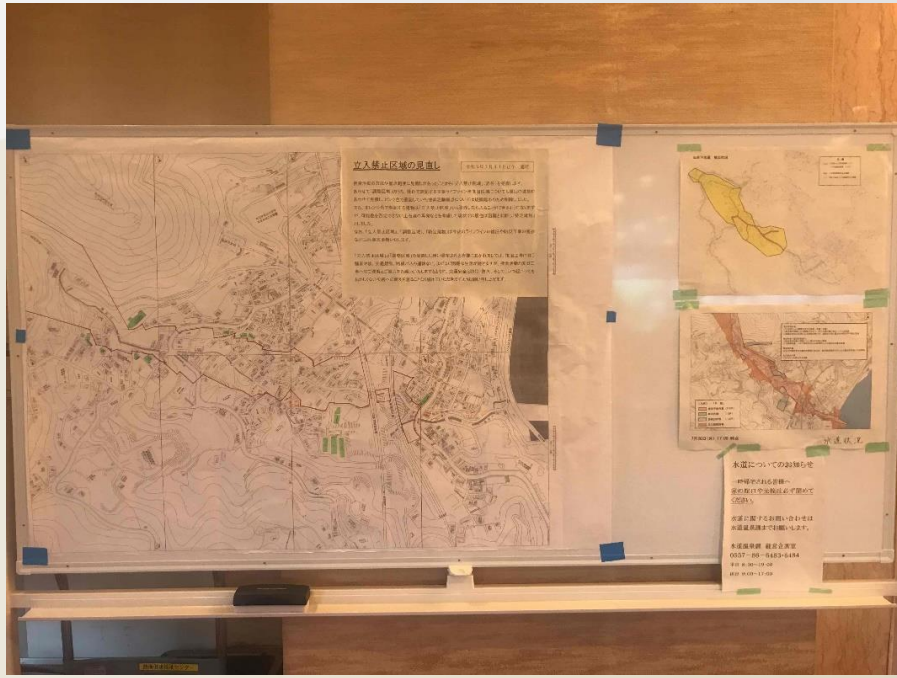
### ② 他の支援チーム（保健師、DWAT等）から同行依頼があった対象者への訪問

### ③ メンタルヘルスケア相談会（熱海市保健センター内）の設置









避難者の皆様へ

本施設（金城館）の避難期間は、9月15日（水）の朝までに変更となりましたので、ご案内申し上げます。

新たなお住まいに必要となる家電製品等の支援につきましては、準備に時間を要しており、大変ご迷惑をお掛けしておりますが、随時準備ができたご案内しておりますので、皆様におかれましても新たなお住まいへの準備をお願いいたします。

また、福祉センター3階で行っている被災者総合窓口についても9月11日（土）まで開設の延長をいたしますので合わせてご案内申し上げます。

何かございましたら、災害対策本部までご連絡願います。

災害対策本部 86-6443

# 活動実績

期 間	被災者支援	支援者支援
7/4(日)～7/10(土)	31件	0件
7/11(日)～7/17(土)	26件	47件
7/18(日)～7/24(土)	13件	25件
7/25(日)～7/31(土)	21件	0件
8/3(火)～8/31(火)	24件	2件
計	115件	74件

## ※支援者支援

市の保健師からのメンタルヘルスケア支援についての打診  
(罹災証明等をめぐる住民の不満等に対する対応からの心的疲労)

## ※メンタルヘルスケア相談会・電話相談の設置

相談会の利用は無かった

(同会場の「被災者相談窓口」や、各種団体の相談会が充実)

### 3. 熱海市生活再建ヒヤリング

避難所から次の仮設住宅等へ移り変わる移行期において「今後の生活再建に向けたニーズを把握する」全戸調査に参加協力

**主催**：熱海市災害ボランティアセンター／熱海市社会福祉協議会

**調査員**：静岡県社会福祉士会・静岡県医療ソーシャルワーカー協会  
・静岡県介護福祉士会・静岡県精神保健福祉士協会 等

**期間**：2021年7月29日（木）～

調査には、延べ210名が参加

**静岡県精神保健福祉士協会からは、延べ10名（実数7名）が参加**

様々な職種・団体の調査員が3名程度のチームとなって被災者の居室を訪問。「必要なサービスが受けれているか」「相談ができているか」などの確認と併せて、20以上の項目を調査する。

# 支援参加者からの感想

- 避難所が「ホテル」という特殊な環境
- 公営住宅の申し込みや罹災証明の発行など、過渡期にあるなかでの不安・憤り・あきらめ
- 他の専門職との協働のなかで、自身の専門性についてあらためて意識した
- 世帯をアセスメントし、支援を繋いでいくことの難しさ

## 4. 今後に向けて

- **自治体・関係団体との連携の重要性を痛感**
- **災害対策計画の見直し（実用性）**  
安否確認、住所地確認の難しさ  
平常時の体制整備 支援のための人材確保
- **DPAT連絡協議会への参画**
- **DWAT・静岡県災害福祉広域ネットワークとの連携へ**



**ご清聴ありがとうございました**

一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会 災害対策委員会  
中村倫也（静岡県立こころの医療センター）

今後に向けて

一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会からのお願い

## メール一斉送信システム（チェックインシステム）

### への登録のお願い

- 当協会では様々な情報や会員の皆様のご意見を収集できるように、メール一斉送信システムの導入を令和3年度の理事会、総会で決定しています。
- 皆様にその登録をお願いしたく、このご案内となりました。
- できる限り登録してもらい、情報をメールで送付していきます
- 別紙の説明やQRコード、URLから入り登録をお願いします

2022年3月31日までに  
登録をお願いします

## このシステム使用目的

- 機関紙「つうしん」や情報等を直接メールで届ける。結果、印刷、郵送を限りなく少なくする
- 研修動画のURL等をメールで送付する
- 災害時の緊急連絡、安否確認に使用する
- 意識調査、意見聴取の際、アンケート機能を使用し集約する
- その他、一斉連絡が必要な場合

## 収集したメールアドレス等の情報、管理について

- このシステムで収集する情報は、氏名、性別、メールアドレス、所属ブロックです
- 管理は事務局で行います。また担当理事1名が管理者IDで上記情報にアクセスすることがあります
- 本システムは株式会社データサービスセンターの開発商品であり、これに登録したことで他者へ情報が洩れることはありません。不正メールにつながる恐れはありません

## 登録の注意事項

- 携帯電話のキャリアメール、gmail、yahooメール、プロバイダメールなどのメールアドレスでも登録可能です
- PDF等を添付することがありますので添付書類が見られるような機器での閲覧をお願いします
- 比較的メールチェックするメールアドレスでの登録をお願いします
- 2月よりテストメール、情報メールを配信します

問い合わせ

澤野 文彦

協会内担当者

沼津中央病院

TEL055-931-4100

e-mail: [app.shizuokapsw@gmail.com](mailto:app.shizuokapsw@gmail.com)



## チェックインシステム「新規登録」

1. 下記①のQRコードをバーコードリーダーで読取るかURLを西行ってください。
2. 迷惑メール設定（受信拒否設定）をされている方は、②のドメイン行ってください。（注）迷惑メール設定を解除しないでください。
3. 携帯端末にバーコードリーダー機能が無くQRコードが読めない③の空メール送信先メールアドレスに直接空メールを送信して登録してください。
4. 上記1.2.3.それぞれ「登録サイト」接続後の操作は、各画面の操作に従ってください。

### 登録先名

（一社）静岡県精神保健福祉士協会

### ①新規登録・登録情報変更用「QRコード」および「URL」

#### QRコード



#### URL

https://io.dataeast.jp/ems/?id=ehz

#### 読み方

エッチ、ティ、ティ、ビー、エス、コロシ、スラック、ティ、イー、イー、エー、エス、ティ、ドット、ジェイ、エス、ハテナ、アイ、デー、イコール、エス、エック、ス、ダブリュ

※「QRコード」は専用ウェブの登録情報です。

### ②迷惑メール設定（受信拒否設定）をされている場合、

- 空メールを送信後、しばらくしても「登録案内メール」が来ない場合は、迷惑メール設定を解除してください。

#### ドメイン名

io.dataeast.jp

#### 読み方

アイ、オー、ドット、デー、イー、ティ、イー、イー、エー、エス、ティ、ドット、ジェイ、エス、ハテナ、アイ、デー、イコール、エス、エック、ス、ダブリュ

### ③空メール送信先のメールアドレス

- 携帯端末にバーコードリーダー機能が無い方、またはパソコンで登録する場合は、空メールを送信してください。

#### メールアドレス

ehzu-mhew@io.dataeast.jp

#### 読み方

エス、エッチ、アイ、ゼット、ユー、ハイフン、エム、エック、エス、ダブリュ、アット、イー、オー、エス、ティ、ドット、ジェイ、イー、ビー

### 登録先の組織IDとあなたのパスワード

- ※「登録案内メール」内に記載のパスワードをご記入ください。

#### 組織ID

ehzu-mhew

#### パスワード

### お問合せについて

- 入力内容、項目や登録情報の修正・変更等に関するお問合せは、弊社での情報修正・変更は出来ませんのでご了承ください。
- 携帯端末の機能及び、操作方法につきましては弊社ではお答え出来ませんので、販売店様へ直接お問い合わせください。
- 上記以外で登録操作に関するお問合せは、下記までご連絡ください。

### 【お問合せ先】

お客様担当 : 090-1781-6710 眞田

サポートセンター : 065-972-7717

なお、ご連絡の際は、チェックインについてとお問合せください。

## 「チェックインシステム」メンバー登録画面説明

- ・登録先より配布された「メンバー登録組織情報」記載のQRコードを読み取り、画面の指示に従って登録を進めてください。

①QRコード読取後、サイトへアクセスし、下記画面より「新規会員登録」を選択します。



②「利用規約」「プライバシーポリシー」を確認後「同意する」を選択します。



（株）データサービスセンター

1/4

④「登録案内メール」受信後、URLを選択します。



（※重要）「登録案内メール」が受信できない場合は、迷惑メール設定の解除操作を行う。

②の「必ず確認してください」への入力内容を確認してください。

⑤URLをクリック後「新規メンバーの登録」をクリックします。



## 「チェックインシステム」メンバー情報変更操作画面説明

下記よりメールアドレスの変更、追加についてご説明いたします。

1. 受信メールから行う場合は、「メンバーメニュー」はこちらをクリックのURLから操作を行ってください。
2. 携帯端末を機種変更（携帯電話会社を変更）し、アドレスを変更、追加する場合は、登録先組織より配布された「メンバー登録組織情報」記載のQRコードを画面の指示に従って操作を行ってください。

①QRコード読取後、サイトへアクセスし、下記画面より「会員登録情報確認・更新」を選択します。



②パスワードを入力し、ログインボタンをクリックします。



※パスワードを出した場合は、登録先の組織へお問い合わせください。

③変更箇所をクリックします。  
※受信メールURLから操作の場合はこちらから

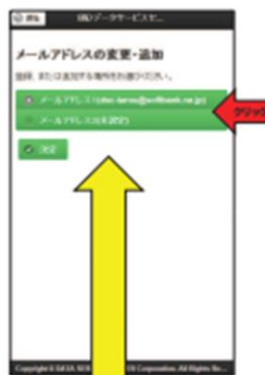


（株）データサービスセンター

1/2

2020/9/24現在

④変更先のアドレスをクリックします。



※登録アドレスを追加する場合は、メールアドレス2（未設定）をクリックします。

⑤変更内容を確認後、「はい」をクリックします。



※「上記アドレス」とは現在登録されているアドレスです。

⑥メール送信画面起動後、空メールを送信します。



※メール送信画面は、ご利用のメールによって異なります。  
例) gmail.com, icloud.com等  
※宛先及び本文は、画面で表示された文面です。

⑦下記メールが受信されたら完了です。



# 次年度事業計画

本協会は、精神障害者の社会的復権と福祉の向上、及び虐待や自死、社会的孤立等に象徴されるこころの健康に関する課題に対し、その専門性を発揮し、「障害のあるなしにかかわらず多様な生き方が尊重され、かけがえのない存在であることを認め合える社会の実現」を目指し、様々な取組を展開している。そして、より一層の職能団体としての使命を果たしていくことを目指し、2019年度法人格を取得した。益々多様化、複雑化、拡大化する課題に取り組んでいくためには、組織を構成している精神保健福祉士一人ひとりの自覚と実行、そしてそれを下支えするための強固な組織体制の構築が求められる。

しかし、2020年2月に発生した新型コロナウイルス感染の蔓延状況は、本協会の活動に大きな影響を及ぼし、2020年度の活動の多くが中止、2021年度においても十分な活動を行うことができなかった。その中でも感染予防のために参集ではなくリモートの活用によって研修や会議等実施したが、それは人とつながる機会を失うことでもあり、結果この2年間における入会者数の激減と退会者数の激増につながった。また、活動の停滞は、精神障害者を取り巻く様々な課題に対する取組を政策提言していくことを困難とし、職能団体としての最も重要な使命を十分果たすことができていない。

そこで、今年度においてはウイズコロナの状況下で、従来掲げている3本柱「人材育成」「政策提言」「組織強化」について、この2年間取り組むことができなかったことを着実に実行していくことと同時に、災害関連の体制整備やピアサポーター養成への関与等新たな課題へも取り組むこととする。一方、コロナ禍において精神障害者に対する権利侵害の深刻さは増しているため、その実態を把握しながら具体的な取組へとつなげていきたい。また、2年後に控えた日本協会との一本化に向けて、会員の安定的な入会と専門職としての人材育成環境を整えていくことが重要と考える。